

Q&A 修了生の声

修了生に聞いてみました。

Q1 専門校への入校を決めたのはなぜ？

卒業後の進路が決まらず親にすすめられて理由もなく、何となく決めました。

Q2 建築系の訓練への不安はなかった？

勉強は好きでなかったのですが不安はありましたが、「学校とは内容が違う」と聞いていたので、どんな事をするのか楽しみでもありました。

Q3 実際に入校してどう？

訓練が進むにつれ道具の名前や使い方を知り、たくさんのもづくり体験を重ねる中で「ものを作る楽しみ」を学びました。

Q4 今はどんな仕事やってるの？

棟梁を目指して大工見習いをやっています。親方や先輩から基本をしっかりと教わり、家が造られていく毎日の仕事が新しいことばかりでとても楽しく、やりがいを感じています。

Q5 習ったことは、役に立ってるの？

道具の使い方をしっかりと習ったので、とても役に立っています。
また、在校中に若年者ものづくり競技大会の全国大会に出場し銅賞を受賞できたことが今の自信となっています。

Q6 後輩へのアドバイスは？

入校するきっかけは人それぞれだと思いますが、日々の訓練を楽しく、真剣に取り組めばいつか入校して良かったと実感する時がきます。
毎日が失敗の連続ですが、失敗から学んでください。その「学び」が後の自分につながりますよ。
自分の仕事が形として目に見え！形として残る！すごいよ！大工の仕事は！



平成27年度修了生
赤井さん(17歳)
長楽加藤建築勤務(豊橋市)

事業主の声

毎日コツコツと自分ができる仕事を吸収しようとする姿勢が見ていて感じられます。
「大工」という仕事は自分との戦いでもあり、大工(職人)としての技量を身につけ、お客様に信頼してもらえる大工になることを期待しています。
今年度、技能五輪全国大会に出場することをきっかけに、物のとらえ方、考え方、姿勢を学ぶことは、今後の仕事に対する取り組み方の自信に必ずつながると思っています。

Q1 専門校への入校を決めたのはなぜ？

建築設計の仕事へ転職を考えていた時に、この専門校に建築総合科(施工管理コース)が新しくできることを知人からアドバイスされたことが一番の理由です。

Q2 建築系の訓練への不安はなかった？

自分が関心を抱いた建築を学びたかったので、新しく始まる建築総合科(施工管理コース)でどんな経験ができるのかワクワク感じっぱいでとても楽しみでした。

Q3 実際に入校してどう？

刃物の研ぎ方から始まり、ノミ、カンナ、ノコギリを使って木造の骨組み、床、壁、階段を実際に自分で造り上げたことは、ものすごく良い経験だったと感じています。

Q4 今はどんな仕事やってるの？

建築の設計事務所に就職して、専用CADを使った設計図面や建築するために必要な手続きに関係する申請書を作成しています。マイホームを実現できるお客様からの感謝がとてもうれしい毎日です。

Q5 習ったことは、役に立ってるの？

1/10で木造の骨組み模型を作った経験から部材配置の重要性を学んだことが、お客様の家を計画設計する時に「専門性の高いプランニングができる」と先輩から評価されたことが嬉しかったです。

Q6 後輩へのアドバイスは？

やってみたいことや興味を抱いたことは、先生たちに相談することを進めます。
実際に自分で経験できるように可能な限り取り組んでもらえると思いますよ。その経験から数多くの気づきや発見があり、自身の能力を発見できる2年間になるはずですよ。



平成27年度修了生
尾崎さん(23歳)
(株)太平洋設計事務所勤務(豊橋市)

事業主の声

入社して4か月、まだまだ不慣れな環境と多様な業務内容の中、一生懸命に取り組んでいます。一生懸命ゆえ、空回りもありますが大切な経験です。
手が空く時には、積極的に次の仕事を手掛ける姿勢にも感心しております。
「見て覚える！」の職人氣質が残る業界でもあり、手取り足取りで指導する事はありません。何が分からないのか？何が答えなのか？どうしたらいいのか？分からないことだらけの中、模索しながら成長していると感じております。
習った事、経験した事を最大限に活かし、今後の業務と自分の目標に向かってくれる事を期待しております。